

年度	2026	開講学期	通年	単位数	1	時間割コード	
授業科目名	冷温帯林と持続的森林・林業 (公開森林実習)			担当教員	山本信次		
授業科目名:英語	Cool-temperate forest and sustainable forest management						
主な対象学生	学部・大学院・他	学科	コース			学年	区分
	農学部					3,4	
科目の情報	科目の種類			ESDとの関連		他学部開講科目	
	いわて5大学単位互換科目		○	公開授業講座		高大連携科目	
履修上の条件				キーワード	演習林	公開森林実習	
他の担当教員	白旗 学, 高田乃倫予						
学位授与方針との関係							
授業の目的	多様な森林生態系や森林管理, 森林利用, 自然環境・社会などを体験し, その体験を基礎に森林科学の学びを深めることが重要なことから, 本実習を通じて森林と人とのつながりに対する理解を一層深めることを目的とする。						
到達目標	冷温帯林における多様な森林生態系を基礎に森林管理, 森林利用, 自然環境・社会を体験することにより, 多様で複眼的視点から森林の価値を理解し, それらのことが体験的に説明でき, 森林科学の学習を進める上で基盤となるような能力を修得する。						
授業の概要	全国大学演習林協議会により行われている単位互換協定による公開森林実習である。授業は岩手大学滝沢演習林, 御明神演習林など岩手県の冷温帯林における実習を主体に行われる。主な実習内容は, 冷温帯林の自然(ブナ林, 天然スギ・ヒバ林, 天然アカマツ林, 亜高山帯林), 長伐期人工林施業による森林管理, ウルシなど広葉樹の利用から生じた文化, 災害復興を通じた森林との関わりから, 人と森と風土の関係からなる。						
授業の形式	授業形式は実習主体で行われる。岩手大学演習林において合宿形態(4泊5日)で行われる。						
授業外学習	冷温帯林における森林生態, 森林管理, 木材産業, 山村社会等の特徴について, 事前に学習しておくことが望ましい。						
成績評価の方法と基準	評価方法		割合	評価観点			
				関心・意欲	知識・理解	技術・表現	思考・判断
	授業への取り組み		60%	○			
	レポート		40%		○	○	○
評価基準							
実習への取り組み(50点), レポート(50点)により60点以上を合格とする。秀(90点以上), 優(80点~89点), 良(70~79点), 可(60~69点), 不可(60点未満)とする。再試は実施しない。							
履修における留意点	授業は, 岩手大学農学部集合, 小岩井農場経由の盛岡駅解散となる。授業料は無料であるが岩手大学までの交通費, 食費などの実費(11,000円)が必要である。						
教科書/教材							
参考書							